

平成 29 年度 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から

平成 30 年 3 月 31 日まで

学校法人クラレット学院
幼保連携型 認定こども園
うみのほし幼稚園

1. 法人の概要

名称 学校法人クラレット学院（昭和60年2月1日法人設立）
 代表者 理事長 フェリックス・マルティネス
 住所 大阪市旭区太子橋1丁目1番27号
 電話 06-6951-2633
 F A X 06-6955-6988

設置する学校

住所 大阪市旭区太子橋1丁目1番27号
 名称 あけのほし幼稚園
 住所 大阪府枚方市岡南町3番46号
 名称 幼保連携型 認定こども園 うみのほし幼稚園

役員 理事 6名
 監事 2名
 評議員 13名
 理事会 3回開催
 評議員会 2回開催
 教職員 49名

	園長	副 園長	教員	教員 パート	職員	職員 パート	教員 派遣	職員 派遣	看護 師	合計
28年度	1	1	19	23	3	2	1	2		52
29年度	1	1	20	24	3	2	2	2	1	56
30年度	1	1	22	24*	2	3	1	2	1	57

*24人の内、8人が常勤(1日6時間以上勤務)

2. 事業計画

《教育方針》

一人一人が神様から愛されていることに気づき、人とのかわりを大切にし、その子らしさを輝かせて生きる。

《教育内容》

いろんな体験の場を設け、素材を準備して、子どもたちの意欲を自主的に引き出せる環境を整えています。朝の自由活動は、自分で活動を決め、片付けまで行っています。

	1才児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス 数計	園児 数計
	クラス 数	園児数	クラス 数	園児数	クラス 数	園児数	クラス 数	園児数	クラス 数	園児数		
定員			2	(20)	4	100(20)	3	105(20)	4	140(20)	13	365(80)
28年度			2	(20)	4	98(20)	4	102(20)	3	102(13)	13	322(73)
29年度 4月			2	(20)	4	91(20)	3	96(20)	3	102(20)	12	309(80)
29年度 9月	2	(15)	1	(20)	4	93(20)	3	94(20)	3	102(20)	13	324(95)
利用定員	2	(20)	1	(20)	4	100(20)	3	100(20)	3	100(20)	13	340(100)
30年度	2	(20)	1	(20)	4	100(20)	3	92(20)	3	94(20)	13	326(100)

()の内は2号児・3号児数

《保育時間》

- 1号認定 月～金曜日 10:00～14:00
 2号・3号認定月～土曜日 7:00～18:00(保育短時間 9:00～17:00)
 延長保育 月～土曜日 18:00～19:00

《納付金》

1号・2号・3号共通

- (1) 保育料.....園児が居住する市町村が定める額
 (2) 日本スポーツ振興センター(ケガ等の保険) 200円
 (3) 父母の会会費.....600円(在園弟妹400円)

1号認定

- (1) 環境充実費(上乗せ徴収) 2,250円(年額27,000円)
 (2) 園費(実費徴収) 4,200円(年額50,400円)
 (年長のみ4,600円、年額55,200円)

内訳: 教材・行事 950円(年長1,350円)

給食 3,250円(自園給食週5回)

- (3) バス送迎費..... 2,420円(税別・利用者のみ、年額29,040円)
 (4) 入園時
 入園検定料 5,000円
 入園予約金.....30,000円
 施設協力費(上乗せ徴収)30,000円
 バス協力費.....13,000円(税込、利用者のみ)

2号認定

- (1) 給食費(実費徴収) ...2,000円(年額24,000円)
 (2) バス送迎費.....3,000円(年額36,000円・税別・利用者のみ)

※3号認定利用できません。長期休園等運行なし

※入園時 バス協力費13,000円(税込、利用者のみ)

《預かり保育の時間及び費用》

通常保育日 月～金曜日

早朝 7:00～8:15 1回100円

降園時間～17:00 1時間100円(レギュラー券30%引)

17:00～19:00 1時間200円

長期休業日 月～金曜日 7:00～17:00

7:00～12:00 400円

7:00～17:00 1,000円(給食含)(当日券800円・レギュラー券30%引)

7:00～19:00 1,300円(給食含)

《未就園児 ーてんし組ー の時間及び費用》

子育て支援プログラム。2歳児の親子教室。20組まで。

3クラス。月・火・金曜日 午前9:30～11:30。

1学期 7回 6,300円

2学期 6回 5,500円

3学期 4回 3,600円

《地域の子育て支援》

在園児でない、地域の子育て家庭のため。無料。

1. 「にこにこひろば」

親子が相好の交流を行う場。園の保育教諭を交えて子育てについての相談や情報交換などができる。

対象 0才(まだ歩けない子ども)。親子10組まで。

日時 毎月第1月曜日 10:30～11:30

2. 「よちよちひろば」

親子が相好の交流を行う場所を提供し、園の保育教諭を交えて子育てについての相談や情報交換などができる。

対象 1才(ちょっと歩けるようになった子ども)。親子10組まで。

日時 毎月第3月曜日 10:30～11:30

3. 「わくわくひろば」

親子が相好の交流を行う場所を提供し、園の保育教諭を交えて子育てについての相談や情報交換などができる。

対象 2・3才。親子10組まで。

日時 毎月第2・4月曜日 10:30～11:30

4. 「育児相談」と「健康衛生相談」

未就園児を抱える保護者の育児・子育てに対する不安解決を図るため、保育教諭が個別に相談に応じ、保護者が子育ての喜びが感じられるように支援する。または、子どもの健康や衛生に対し、看護師が個別に相談に応じます。子ども達が毎日を安全に過ごせるよう、こころや身体の成長や発達、病気の早期発見、食事などに関して支援のお手伝いをいたします。

日時 毎週水曜日 9:30～11:00

《行事実施状況》

- 4月 始園式、入園式、クラス懇談会
- 5月 子どもの日祝福式、親子遠足、イチゴ狩り(中)、マリア様の日、グループ参観
- 6月 内科検診、歯科検診、プール開き、体育指導参観(長・中)
- 7月 七夕、お泊り保育(長)、個人懇談、ほしのご祭り
- 9月 2才児運動会
- 10月 運動会、芋掘り(長)、遠足、人形劇鑑賞、
- 11月 父親参観、七五三祝福式、内科検診、歯科検診
- 12月 イエス様のお誕生日会、サンタの日、キャンドルサービス(長)、卒園生の集い
- 2月 生活発表会、小学校訪問(長)、お別れ遠足(長)、個人懇談、保育参観日
- 3月 卒園感謝の祈り(長)、お別れ会、卒園式、終園感謝の祈り

《施設関係》

園地面積 2,516 m² 運動場面積 1,595 m²

29年度が一番大きな変更は9月から始まった1才児の受け入れに伴う様々なことでした。以前年調のために使われた保育室は2才児用の部屋(みかん組)になり、今まで2才児が使っていた二つの部屋は1才児用(いちご組、りんご組)に変わりました。また、近くのトイレに洗濯機2台とシャワーの設置。調乳室と新しい物入が作られました。さらに、乳児の遊ぶスペースを広くするため、マリア像は2回の講堂前に移動し、その壁に間弓莉絵による大きな壁画が出来上がりました。

他の修理や工事としては、1階にある年少組の4クラスの床磨きと塗り替え、1階のトイレの入り口にある手洗いの壁裏に白蟻問題のため駆除と修理、園庭の入り口にある内門の修理、建築物定期調査の際指摘されていた小さなクラック等の修理、安全のため園庭のらせん階段などの裏にコーティング工事。

《保育内容》

資料1参照

《経営状況》

枚方市の要請に従って9月から1才児に受け入れが始まりました。うみのほしにとって初めての事、しかも年度の途中ということで、定員の20名ではなく、15名でスタートを切ることが許されたことに感謝します。2才児の経験と4月から8月にかけて指導計画などを細かく準備が出来たことによって大きな混乱はなく保育・教育がスムーズにできました。

ますます大きな課題として感じられるのは教員の確保です。特にパートに関しては、募集し

でも来ていただく教員は集まらないのは現状です。

29 年度当初園児数は、前年度より 13 名減少しますが、9 月に 15 名（1 歳児）が入園したことによって園児数が安定していることがうかがえます。

財務面では、教育活動収入計が 274,830 千円、教育活動支出計 288,972 千円、教育活動収支差 14,142 千円のマイナス、経常収支差額 14,120 千円のマイナスと、経常収支差額比率は 5.14% のマイナスと厳しい経営状況になったとの見方は出来ませんが、事業活動収入計 305,247 千円を事業活動支出計 288,972 千円と比較すると 16,275 千円のプラス。また、前年度繰越支払資金 136,783 千円を次年度繰越支払資金 141,272 千円と比較すると 4,489 千円の増加となり、資金ぶりは問題ありません。

人件費に関しては、前年度より 12,488 千円の増加となっています。大きな原因は今年度初めてできた処遇改善 II の影響とと思われます。従って、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、66.14%となりますが、職員の収入は増えたことの現れですので教員の確保問題解決につながることを期待したい。

資料 1

平成 29 年度 自己評価まとめ

(学) クラレット学院 認定こども園 うみのほし幼稚園
藤田 真弓

①神様ありがとう

〈1歳〉

・子ども達を丸ごと受けとめて、自分が愛されていると感じられるよう関わっていることで、頑張ったり挑戦したりする姿を見せてくれて、心の成長を感じた。

〈2歳〉

・友達も存在も身近になり、困っている子や泣いている子を気にかけて、頭をなでたり、先生を呼びに行くなど、自分のできることで助けようとする姿がある。

・御聖堂には、親しみを感じ、訪問することは楽しみにしているが、いすの高さが体に合わないなど落ち着いて座っていることが難しい様子がある。

〈年少〉

- ・「うれしかったこと」子どもがわかりやすい日々のことに取り組むことで、神様のことを話しやすかった。
- ・誰かと何かをして嬉しかったことを伝えることが多い。「好き」の気持ちに気付いたり感じたりできた。
- ・一年を通して、視覚的に見えるものを準備できると良かった。

〈年中〉

- ・心の取り組みを、子ども達の成長に合わせて、内容や形を変えて取り組んでいくことができた。
- ・日常生活の中で、心の準備ができたときに、伝える、ほめることを行い、みんなの前で発表するという機会を取ってきたことで、周りの人たちに受け入れてもらっている、知ってもらえたということが、うれしさや安心につながっていった。
- ・子ども達の力、存在を認め、うれしさや安心につなげることができたが、そこから神様の存在につなげていく話をすることが少なかったり、深めるタイミングがもう少し早い段階から伝えればよかった。

〈年長〉

- ・初めは自分のことが多かったことが、次第に友達のこと、周りのことを発表する姿が増え、思いやりの心が育った様子を感じた。
- ・毎月、御聖堂で園長先生にお話をしてもらい、子ども達はじっくり聞き、心に残っている姿があった。良い時間を過ごせた。
- ・目に見える形（心ノート）で取り組み、より神様を身近に感じ、事前に祈る姿が増えていった。

②なぜ? どうして!? やってみよう!!

〈1歳〉

- ・なぜ? どうして? を言葉で表現することは難しいが、子ども達の動きや表情などの反応を見逃さないようにしていると、様々なことに気付いていることを感じる。また、保育者が共感することで、言葉や気持ちがつながる場面が見られた。
- ・「やってみたい」の思いが強くなり、対象物を持っていたことや、通路にいたなどの些細なきっかけで嘔みつき、ひっかき、押す、つかむなどの行為によって、思いを通そうとし、トラブルになることがあるので、未然に防げるよう配慮を怠らないようにする。

〈2歳〉

- ・生活習慣において、食事、トイレ、着替えなどできるようになった子を見て、同じようにやってみたいと意欲がわいたり、先生に褒められているのを見て、自分もと刺激を受けたり、友達の姿をみてできることが増えていった。
- ・個人差や家庭の状況などを、職員間で伝えあい、ひとり一人に合った無理のないペースで、身に付けていけるよう、これからも援助していきたい。

〈年少〉

- ・保育に余裕が持てるようにカリキュラムを組んだことで、一つのことを子どもと深めていくことができた。
- ・長いスパンで、学年で取り組むことを共有してきたことで、日々の保育の中で（運動・音楽など）取り組んできた。

〈年中〉

- ・学年で興味のあるものを伝えながら、クラスを超えたつながりや深め方ができた。
- ・夏は虫、冬は氷、気温など、子ども達の身近なことをクラスみんなで深め伝えられた。
- ・子どもが興味を持った時に、調べたり深めたりできる、環境を整える必要性を感じた。

〈年長〉

- ・自分で考えて動く力がとても伸びた。自分の意思をしっかり持って、行動する姿があった。
- ・様々な活動の中で、自信が付き、どんなことにも「まずはやってみよう」という気持ちで挑戦する姿が見られた。
- ・物事の理由を考えたり、工夫する力を伸ばしてきた一年だった。

③その他

〈1歳〉

- ・1歳児の保育を通して、言葉はなくても伝わるものがあることや、子ども達が親と同じように保育者を特別な存在と感じ、手本にしていることを感じた。そのため、丁寧な関わりの大切さを実感し、保育を見直ししながら、子どもが興味のあること、持てることを取り入れることができた。
- ・家庭の様子もそれぞれ違うため、様子を聞いたり、連携の必要性を感じるが、難しさもある。

〈2歳〉

- ・日々、少しの時間でも体を動かす活動を取り入れたことで、体力がついたことを感じる。
- ・進級に向けて、保育者の人数を調整したり、補助の先生の子どもの関わり方を、全員で共通理解し、同じ思いで関わることはよかった。

〈年少〉

- ・入園初日から、体操服登園にしたことで、子ども達が園生活に慣れるまで、生活面での不安を取り除き幼稚園は楽しいという気持ちが早く持つことができたように思う。
- ・日々の保育の中のお楽しみの活動を、行事につなげていくことができたことはよかった。

〈年中〉

- ・遊びの中で、運動を取り入れていくことで、好きな子得意な子が力をつけ、その子ども達をみて刺激を受け取り組んでみたり、教え合うなどの姿もあり、楽しみながら力をつける姿があった。

〈年長〉

- ・学年みんなが仲良く、一緒に盛り上がって楽しめてよかった。どんなことも決める時に、「楽しいか」「やってみたいか」に重点を置き、やってきた。楽しく取り組んだからこそ、大きな成長につながった。

〈全体〉

- ・乳児期、幼児期 私たちが子ども達の過ごせる期間はとても短く、いろいろなことを子ども達に伝えたいとなるより、この幼い時期に、ひとり一人が愛されていること、愛されているから頑張れる思いを持てる。この思いが、今結果に出るのではなく、大きくなって、人としての根底にあるように、という思いで、子ども達と今後も関わっていく。